

講師紹介

田口 敦子 氏	慶應義塾大学 看護医療学部 地域看護学分野 教授
<p><学歴・職歴></p> <p>東北大学大学院医学系研究科にて博士（医学）を取得。 世田谷区世田谷保健福祉センター、伊丹市保健センター臨時職員などで保健師を経験。その後、教育・研究職として東京大学大学院医学系研究科、東北大学大学院医学系研究科を経て、2020年から現職。</p> <p><論文・著書></p> <ul style="list-style-type: none">・ICT活用により保健師活動はどう変わっていくのか？保健師によるDX推進の可能性と意義。保健師ジャーナル。2023;79(5):370-375.・地域保健に関わる住民組織の特徴と課題：全国市町村への調査。日本公衆衛生雑誌。2019;66(11):712-722.・「互助」の概念分析。日本公衆衛生雑誌。2020;67(5):334-343.・外来で始める在宅療養支援 東京：日本看護協会出版会，2021.	
赤塚 永貴 氏	慶應義塾大学 看護医療学部 地域看護学分野 助教
<p><学歴・職歴></p> <p>2015年に横浜市立大学医学部看護学科卒業。同年、横浜市へ入庁。2018年に横浜市立大学大学院医学研究科博士前期課程へ進学。2020年に修士号（看護学）を取得。2022年に慶應義塾大学看護医療学部特任助教に着任。2023年から慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科博士後期課程に在籍。現職は同大助教。</p> <p><論文・著書></p> <ul style="list-style-type: none">・田口敦子，赤塚永貴，大澤まどか。ICT活用により保健師活動はどう変わっていくのか？保健師によるDX推進の可能性と意義。保健師ジャーナル 79(5)，370-375，2023.・Akatsuka, E., Tadaka, E. Development of a resilience scale for oldest-old age (RSO). <i>BMC Geriatr</i> 21, 174 (2021).・赤塚永貴，有本梓，田高悦子ら。都市部地域在住高齢者の主観的健康観に関連する要因の性差に関する比較。日本地域看護学雑誌 19(2)，12-21，2016.	

吉田 知可 氏

大分県西部保健所 地域保健課

疾病・感染症対策班 課長補佐（班総括）

<職 歴>

平成 6 年 4 月～ 大分県入庁

中津保健所、中央保健所、日田玖珠保健所、県庁福祉保健部 健康対策課（母子保健係）、
国東保健所、東部保健所、北部保健所、

厚生労働省老健局 高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室（平成 24、25 年度）

県庁福祉保健部 高齢者支援課（地域包括ケア推進班）、西部保健所

県庁健康づくり支援課（健康寿命延伸班）を歴任

令和 4 年 4 月より現職

<社会活動>

全国保健師長会

平成 30 年度～調査研究委員会 委員

令和元年度 ～調査研究委員会 委員長

全国保健師長会の調査関連実績

- ・平成 26 年度 地域保健総合推進事業「ソーシャル・キャピタルの醸成にかかる保健師の能力形成に関する研究」研究協力者
- ・平成 27 年度 地域保健総合推進事業「地域包括ケアシステム構築における保健所・市町村保健師の保健活動に関する研究」研究協力者
- ・令和 3 年度 地域保健総合推進事業「地方自治体の保健師活動における ICT の活用に関する調査」分担事業者

鈴木 仁枝 氏

静岡県島田市 健康福祉部 健康づくり課

技監

<職 歴>

昭和 63 年 島田市入職

市立総合病院、市立居宅介護支援事業所勤務や、保健福祉業務に従事する。福祉事務所勤務を経て、令和 4 年 4 月より現職